



国民の森林・国有林

森林ふれあい情報

平成20年5月

第7号

中部森林管理局木曽森林環境保全ふれあいセンター

〒399-0001 長野県木曽郡木曽町福島5471-1

TEL: 0264(22)2122 FAX: 0264(21)3151

E-mail: kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

「城山史跡の森」の遊歩道等整備を実施

城山史跡の森倶楽部の会員約30名と木曽地方事務所林務課及び当センターの職員が参加して、今年度同倶楽部が計画している事業の一つである、城山史跡の森の遊歩道等整備の第1回目を4月11日に行いました。

今回の整備は、山村代官屋敷裏から紅葉ヶ丘へ至るまでの歩道、紅葉ヶ丘周辺の歩道、天然サワラの森から児野山三角点に至るまでの歩道等の整備を行いました。

当日は、日中の気温が20℃に達するような初夏を思わせる汗ばむ天候の中で、歩道を遮っている直径が40cmを超すモミの風倒木処理、トイレへ通じる歩道の新設等参加者は苦勞していましたが、これから散策や植物観察等に訪れる多くの方が、安全に通行できるよう願いながら皆さん真剣に作業をしていました。



作業中の倶楽部のメンバー

木曽青峰高校1年生体験林業実施

毎年恒例となっている、木曽青峰高校1年生を対象に、赤沢自然休養林見学及び体験林業が、「木曽青峰高校で学ぶ生徒として、地域の森林を知り、それを保護し普及する技術を体験的に学ぶ。」ことを目的として、4月30日に教職員も含め86名が参加して行われました。

午前中は木曽森林管理署、木曽森林環境保全ふれあいセンターの職員がインストラクターとなって、伊勢

神宮で御神木として昭和60年に伐採された跡地等見学したあと、普段は立ち入ることの出来ない屈指の木曽ヒノキ美林である「千本立」や「奥千本」を体感しました。午後からは、赤沢自然休養林を管轄する栢木南小川森林官から作業上の注意等を受けた後、ヒノキ林の育成のため、林内に密生したアスナロ（ヒバ）の除伐作業に汗を流しました。

当日は、5月9日（金）に放送されるテレビ信州のゆうがた Get! 「キャプテン・オブ・ザ・アース」の取材も行われ、職員がインストラクターを行っている様子や、除伐作業をしている様子、生徒へのインタビュー等の収録も行われました。

3時間あまりに及ぶ山道の歩行や、慣れない鋸での作業で疲れた様子でしたが、これから学業を進める上で貴重な1日になったことと思います。



奥千本での撮影風景



手鋸姿も凛々しい生徒

新メンバーで H20 度事業スタート

4月1日付けの異動により、新しいメンバーで平成20年度の事業がスタートしました。

今年度の主な木曽森林環境保全ふれあいセンターの活動は、

1 NPO 等との連携による自然再生の推進及び森林環境教育等の支援

(1) 自然再生の推進

- ① 長野県西部地震災害復旧地における自然再生
- ② 木曽駒ヶ岳森林生態系保護地域等における植生復元
- ③ NPO 等の支援・連携を活用した史跡の森づくり事業

(2) 森林環境教育支援

- ① 木曽川下流域の NPO 等が実施する森林環境教育について、地元木曽町林業振興会及び木曽広域連合と連携した支援活動や技術指導の実施
- ② 木曽青峰高校等と連携した森林環境教育の基盤整備

(3) 木曽川下流住民による森林整備

木曽川下流のボランティア団体や一般市民の参加による、間伐等の森林整備を行うイベント（木曽川・森林づくり in 赤沢）の実施

2 支援体制の整備等

(1) 地元自治体・NPO 等の関係団体に対する支援体制を整備

- ① 森林環境教育の指導者等地元人材や地元イベントなどの関連情報の把握
- ② 局管内で活動する NPO 当に関する情報収集及び情報提供

(2) 木曽および南信森林管理署管内の小中学校の教職員を対象とした森林・林業体験学習会の実施

(3) 局管内で活動する NPO 等の情報交換及び資質の向上を目的とした「グリーンボランティア・サミット」の開催

となっています。

局・関係署等に協力をいただきながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



木曽義仲公お手植えの二代目と伝えられる興禅寺の時雨桜の前で（右から眞田所長、寺澤、藤井、高嶋）



事務所から興禅寺の時雨桜を望む



センター敷地内にある御衣黄（ギョイコウ）3本



花弁は緑色と黄色が混ざり、花弁の中心に紅色のスジが出る。

緑色の花を咲かせる唯一の桜であり、また、緑、黄、ピンクへと色を変え、やがて花ごとポトリと落ちる、大変珍しい桜でもある。